自己点検チェック・代理店手数料・比較推奨に関する代理店の意識と提言

「代理店手数料が減少した」の回答は専属21.3%、乗合34.8%

2026年度実施　大阪代協

全会員アンケートを通じて見えてきた「会員の思い」（中）

DATA FILE

大阪代協（隼田智貴会長）は、全会員を対象に「全会員アンケートを通じて見えてきた『会員の思い』―自己点検チェック・代理店手数料・比較推奨に関する代理店の意識と提言―」調査（回答：516名）を行い、10月1日にその結果を公表した。同アンケートでは一人ひとりの忌憚のない「代理店の声」も取り上げている。今回はその中から、「代理店手数料」に関する質問から得た回答（一部抜粋）を紹介する。（次回は「比較推奨」を掲載する予定）。

なお、詳細は（https://www.osakadaikyo.or.jp/info/25452）。

全社収保規模をベースに個社の代手ポイント計算を

手数料体系への意見は5～7割反映されず

代手ポイントに関係なく比較推奨販売経営に影響大きく、ストレスも

■代理店手数料

1. 代理店手数料（2025年度）の増減について

専属（回答総数286件）では「わからない」が35・7%で最も多く、「増加した」が26・2%である一方、「減少した」とする代理店は21・3%であった＝図1―1。

他方、乗合（同230件）は「減少した」が34・8%で最も多く、「増加した」の27・8%を上回った。また、「前年度とほぼ変わらない」は26・1%であった＝図1―2。「東京海上の制度は自社都合が多く、従来から変わらない」とする意見も。

2. 主要取引損保社の代理店手数料体系の改定における、代理店の意見の反映について

専属では「ほとんど反映されていないと感じる」（17・8%）となり、約5割が意見は反映されていないと感じている。

一方、乗合をみると、専属と同様に「ほとんど反映されていないと感じる」が最も多いが、その割合は49・1%と専属を大きく上回る。続く「全く反映されていないと感じる」（24・8%）と合わせると7割強が意見は反映されていないと感じているようだ＝図2。

3. 代理店手数料体系の改定に関して保険会社に意見を伝える機会があったか？

専属は「わからない」（41・6%）と「意見を伝える機会はなかった」（40・9%）とほぼ同じ割合となり、「意見を伝える機会があった」とするのは14・3%であった。

他方、乗合は「わからない」とする割合は18・7%で専属より少なかった。ただ、「意見を伝える機会はなかった」とするのは44・8%で、専属より若干多くなったが、「意見を伝えることができた」とするのは32・2%となり、専属よりも機会があったことを示した。

4. 主要取引損保社の今回の改定における業務品質評価の割合について

専属では「業務品質評価の割合が増えたが指標水準は厳しくなった」が32・5%と、「わからない」（34・3%）に次いで多かった。「良いバランスだと思う」は9・4%であった。

対して乗合は、「業務品質評価の割合が増えたが指標水準は厳しくなった」が47・8%にも及び、「良いバランスだと思う」は3・5%と少数であった＝図3。

5. 代手ポイント設定下における、顧客への最善利益勘案義務を前提として比較推奨販売時の顧客対応について（乗合）

「代手ポイントに関係なく比較推奨を行う」が40・4%、「経営に影響が大きくストレスを感じる」が33%、「顧客に特段の意向がない場合は、基本的な項目を示して意向確認を行うが、結果として代手ポイントの高い保険会社商品を推奨する可能性がある」が10・9%となった＝図4。

「ビジネスなので利益優先は当然である。最善利益勘案義務は念頭に入れているが、ケースバイケースであり、利益優先の方針は変わらない」といった意見もあった。

6. 代手ポイント格差を均衡させるために、最も良いと思う方法について（同）

「全社収保規模をベースにして個社の代手ポイントを計算する」が41・7%で最も多く、「収保規模の考え方をなくし、全て業務品質だけで計算する」が24・3%となった＝図5。

図1－1．〈代理店手数料の増減について〉貴店の2025年度における年間手数料の増減についてお答えください（専属）

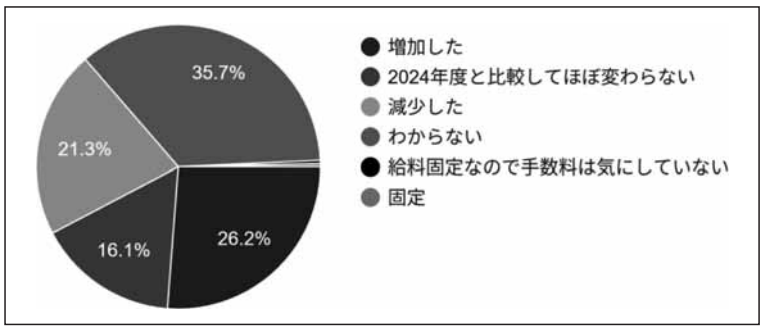


図1－2．〈代理店手数料の増減について〉貴店の2025年度における年間手数料の増減についてお答えください（乗合）

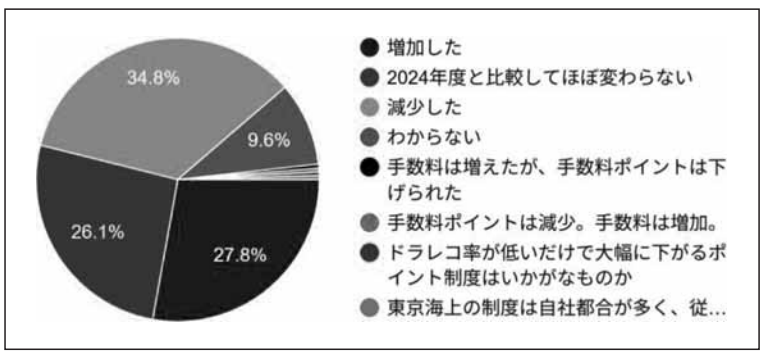


図2．主要取引損保社の代理店手数料体系の改定において代理店の意見がどの程度反映されたと感じますか（乗合）

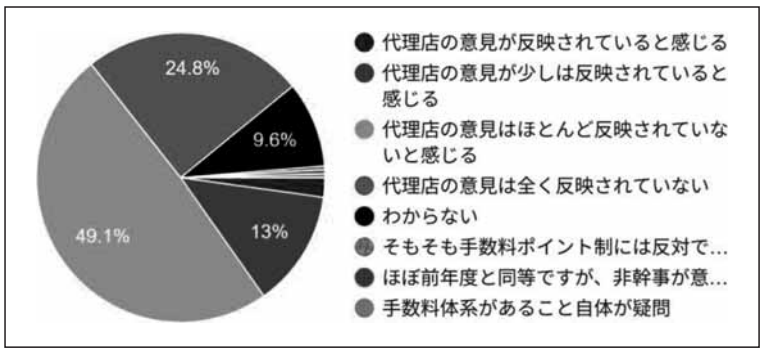


図3．各保険会社共に、規模・増収の割合を下げ、業務品質評価の割合を増やしたと説明しているが、その割合をどう感じますか（乗合）

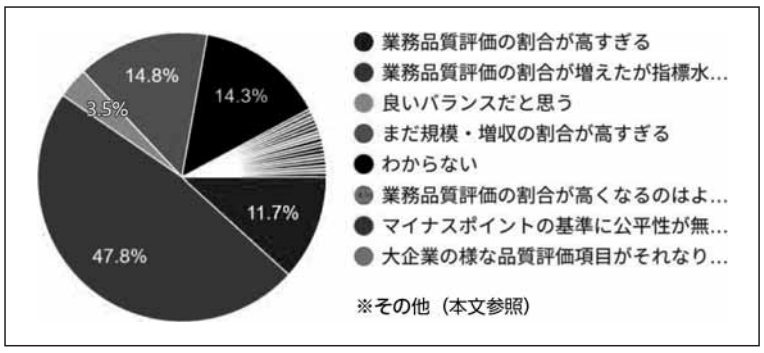


図4．損保各社の代手ポイントがバラバラの中、顧客への最善利益勘案義務を前提とした比較推奨販売の顧客対応の観点からどう捉えていますか（乗合）

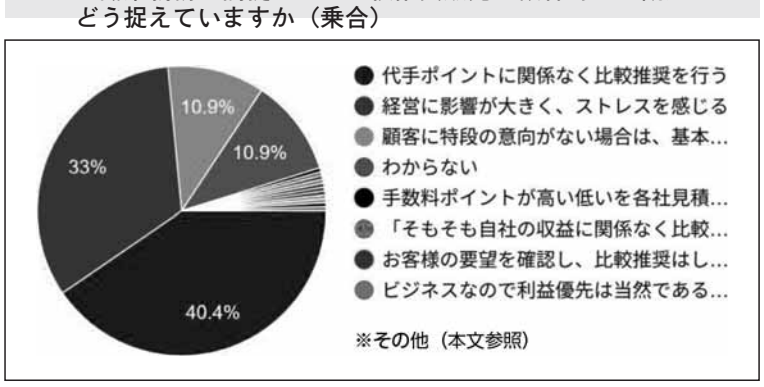


図5．代手ポイントの格差を均衡させる最も良い方法は（乗合）

